

団体名：岩国往来まちづくり協議会

活動名：古道「岩国往来」を復元・活用した地域づくり

代表者／ふじもりかつひこ
藤森勝彦

所在地／岩国市横山3-6-51

(活動紹介)

1 活動の目的

歴史の道「岩国往来」を復元、整備することによって、「岩国往来」沿いにある本郷や美和、岩国地域それぞれの歴史や文化、自然を再発見し、そして各地域の資源を活用した魅力あるまちづくりを創出し、地域の活性化を図っていくことを目的としています。

2 これまでの活動内容

慶長5年(1600年)、初代岩国藩主吉川広家の家族とその家臣団が、出雲より岩国に移住したときに通った歴史ある道で、その後もお国廻りや生活道として栄えてきました。しかし大正時代から現在の道が順次整備されてくると、坂が多く道幅も狭い「岩国往来」は次第に人々から忘れ去られていきました。最初は古い地図を調べコースを特定することからはじめ、地域住民に呼びかけを行って協力をいただき、平成18年よりボランティアの方々と協働しながら、本郷から岩国まで30kmを復元し、歩けるように整備してきました。

◆ 整備の状況

忘れ去られ荒れ放題になっていた古道を地元自治会やボーイスカウトなどの協力によって、倒木の撤去、橋の標識の設置、駕籠立場2ヶ所、一里塚2ヶ所の復元、案内板の設置などの整備を行ってきました。

◆ 夢街道ルネサンス地区に認定

中国地方の夢街道ルネサンス地区に平成20年3月に認定され、錦帯橋に記念碑を建立しました。

◆ 「岩国往来」を歩くイベントの開催

「岩国往来」の本郷～美和町渋前～錦帯橋間を、JRふれあいウォークや飛脚リレーなどの各種イベントを活用し、また、地元の中学生や同好会グループからガイドの依頼があれば、ともに歴史の道「岩国往来」を歩いています。

3 活動の展望

「岩国往来」沿いの倒木、草刈りや投棄されたゴミなどを地元と協働で整備を続けるとともに、更なる歴史的な史跡などを復元し、案内板を増やし、イベント等も開催することによって誰でも気軽に楽しく歩けるようにしていきたいと考えています。



【間伐材を使用して美和町志谷駕籠立場を復元】



【郷一里塚の復元(美和町阿賀)】